

「桃太郎山車」が復元 地元でお披露目巡行

明治、大正時代に宇都宮市の「菊水祭」で巡行された「桃太郎山車」が復元され8日、同市内でお披露目巡行された。市民グループ「宮のにぎわい山車復活プロジェクト」が復元作業を進めてきた。

桃太郎山車は明治時代に南新町（現宇都宮市新町）が造り、菊水祭で巡行されたが、大正2年以降は巡行の記録はなかった。

この日の巡行は桃太郎山車の完成を祝って地元の西原地区連合自治会が企画。自治会関係者や二荒山神社神輿保存会のメンバーら約300人が参加。式典などが行われた後、地元西原小学校の児童も加わって新町大ケヤキ跡から城址公園までの約3キを練り歩いた。

同連合自治会長の中山剛夫さんは、「復元された山車を見てみんなが喜んでくれた。お披露目巡行できてよかった」と話した。同プロジェクト事務局長の田巻秀樹さんは「感無量でした」と振り返った。

今年の菊水祭は10月29、30日、桃太郎山車が103年ぶりに巡行する。



西原小学校の近くをお披露目巡行する桃太郎山車（宇都宮市）
（斎藤有美撮影）